**日韓次世代学術フォーラム 第15回 国際学術大会**

**募 集 要 項**

**【共同テーマ】**

東アジアの文化とその交渉

期　間：2018年6月30日(土)～7月1日(日)

\* 学術発表(30日) 　　\* 調査旅行(1日)

場　所：静岡県立大学 草薙キャンパス（静岡県静岡市）

主　催：日韓次世代学術フォーラム

主　管：静岡県立大学大学院 国際関係学研究科

静岡県立大学 現代韓国朝鮮研究センター

東西大学校 日本研究センター

共　催：静岡県

協　賛：東西大学校

お問い合せ） 日韓次世代学術フォーラム事務局

Home Page：http://www.japancenter.or.kr Tel：+82-51-320-1900, 1901

E-mail：jkjisedai@gmail.com Fax：+82-51-320-1902

住所： 韓国 釜山市 沙上区 周礼路47 東西大学校 日本研究センター内

**1. 目的**

人文社会分野において日韓両国の新たな時代を担う次世代研究者に研究発表と相互交流の場を提供することにより、両国のこれらの分野における研究活動を底上げし、更なる活性化を目指すことを目的とする。

毎年1回の開催を予定する国際学術大会において日韓両国の次世代研究者が場を共にし、自らの学問的な関心事や研究テーマを発表し、討論し合うことにより、相互の研究状況に対する理解を深めるとともに、自らの研究視野を広げることが期待される。

**2. 参加資格**

参加資格は①、②のいずれかとする。

1. 日本または韓国の人文社会系の大学院で修士、博士課程に籍を置く者(国籍を問わず)。
2. 博士課程を修了後、大学での専任の職に就いていない者で、満35歳以下の研究者(日本語または韓国語での発表･討論が可能な者に限る)。

**3. 発表分科**

発表分科は以下の通りとする。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分科１ | 国際関係 | 分科４ | 歴史 | 分科７ | 宗教･思想 |
| 分科２ | 政治･法律 | 分科５ | 言語･文学 | 分科８ | 民俗･人類 |
| 分科３ | 経済･経営 | 分科６ | 社会･ジェンダー | 分科９ | 文化･芸術 |

**4. 参加形態および定員**

【参加形態】

参加形態は①から③のいずれかとする。

①発表者：各分科において研究発表を行う者を指す。

②指定討論者：各分科で行われる研究発表に対し、聴衆を代表して討論を行う者を指す。

③一般参加者：各分科に聴衆として参加する者を指す。

(発表者として申請し、採用されなかった場合は、指定討論者･一般参加者として、また、指定討論者として申請し、採用されなかった場合は、一般参加者として参加することも可能とする。)

【定員】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 発表者 | 指定討論者 | 一般参加者 |
| 日本からの参加 | 36名(各分科4名ずつ) | 36名(各分科4名ずつ) | 若干名 |
| 韓国からの参加 | 36名(各分科4名ずつ) | 36名(各分科4名ずつ) | 若干名 |

参加者の定員は以下の通りとする。

**5. 応募方法**

応募書類は①参加申込書、②発表申請書、③発表要旨(要旨2000字程度、研究の意義400字程度、自己評価400字程度)、④参加申込書(引率教授用)の4種類とし、発表者は①～③を、指定討論者および一般参加者は①のみ、引率教授は④のみを提出すること(日本の大学に所属の者は国籍に関わらず日本語で日本語版を、韓国の大学に所属の者は国籍にかかわらず韓国語で韓国語版を作成)。

応募方法は下記の申請受付案内、またはEメールにて申請書を確認の上、作成後事務局のEメールアドレスに提出すること**(4月18日(水)14：00提出締切)**。

**\*申請受付案内および事務局メールアドレス**

Home Page：http://www.japancenter.or.kr E-Mail：[jkjisedai@gmail.com](mailto:jkjisedai@gmail.com)

[ Facebook : <http://www.facebook.com/jisedaiforum> ]

**6. 選定および通知**

発表者の選定は発表申請受領後、外部の審査に付し、発表分野ごとの定員を考慮して、最終的な発表者を選定する(前年度の発表者は優先順位が下がる)。指定討論者および一般参加者の選定は、発表分野ごとの定員を考慮して選定する。

発表者、指定討論者の選定を行った後、5月11日(金)までに結果を通知する。

**7. 大会日程（6月29日(金)～7月2日(月)）**

［第1日］　6月29日(金)〈韓国側参加者静岡到着、大会本部指定ホテルチェックイン〉

18：00～19：00　　分科会進行会議(各分科の司会は参加要)

［第2日］　6月30日(土)〈学術大会およびレセプション〉

08：40～09：30　　登録

09：30～12：00　　分科別研究発表(午前の部)

12：00～13：00　　昼食、引率教授懇談会

13：20～15：10　　開会式、基調講演

15：30～18：10　　分科別研究発表(午後の部)

18：30～20：00　　レセプション(静岡県主催)

　(分科別研究発表は発表15分、質疑応答20分とする)

［第3日］　7月1日(日)〈調査旅行〉

午前　　富士山五合目、富士山世界遺産センター(韓国語説明文あり)

午後　　(朝鮮通信使の接待が行われた寺)、(世界文化遺産)

(詳細は4月中旬ごろに案内予定。当日の気象条件などにより内容変更となることもある)

［第4日］　7月2日(月)〈大会本部指定ホテルチェックアウト、韓国側参加者静岡出発〉

**8. 参加方法および参加費用**

**【日本からの参加】**

参加を希望する行事によって、下記のa、b、cの費用を支払うこと。

a) 学術大会(6月30日(土)）：3,000円(予稿集代、当日昼食代などを含む)

b) 調査旅行(7月1日(日))：6,000円(バス代、施設入場料、当日昼食代などを含む)

コースは、3ページ「7.大会日程、第3日」を参照。

c) 宿泊：大会本部では、JR静岡駅付近に大会本部指定ホテルを設け、6月29日(金)から7月1日(日)に限り特別料金での宿泊手配も行う。同ホテルへの宿泊希望者は下記【大会本部指定ホテル情報】を参照の上、参加申込書の宿泊手配欄をチェックすること。

* a）は学術大会当日受付にて支払い、b）およびc）は**5月21日(月)までに**指定口座へ振込むこと(振込先情報などは後日該当者に通知し、振込後は原則として返金不可とする)。

**【韓国からの参加】**

参加を希望する行事によって、下記のa、bの費用を支払うこと。

a) 学術大会(6月30日(土))：3,000円(予稿集代、当日昼食代などを含む)

b) 全日程パッケージ(ソウル発：約880,000ウォン、釜山発：約780,000ウォン)

パッケージ料金には、6月29日(金)～7月2日(月)における韓国日本間の往復航空費(ソウル発：金浦空港⇔羽田空港、釜山発：釜山(金海)空港⇔中部国際空港)、各空港から大会本部指定ホテルまでの往復バス料金、同ホテル宿泊料金(ツインルーム、朝食付、下記【大会本部指定ホテル情報】を参照)、7月1日(日)の調査旅行費(6,000円、コースは3ページ「7.大会日程、第3日」を参照)が含まれる。

なお、**パッケージ料金は2018年3月中旬現在のもので、為替および航空費の変動により若干の差額が生じる可能性もある**。

* a）は学術大会当日受付にて支払い、b）は**5月21日(月)までに**指定の口座へ振込むこと(振込先情報などは、後日該当者に通知し、振込後は原則として返金不可とする)。

**【大会本部指定ホテル情報】**

名称：ホテルアソシア静岡　住所：〒420-0851　静岡県静岡市葵区黒金町56番地

TEL：054-254-4141　　ホームページ：<https://www.associa.com/sth/>

特別宿泊料金(6月29日(金)～7月1日(日)限定)：

6月29日(金)および7月1日(日)：1泊約8,000円(ツインルーム、朝食付)

6月30日(土)：1泊約12,000円(ツインルーム、朝食付)

**9. 参加者支援**

**【日本からの参加】**

発表者または指定討論者として選定され、居住地から静岡市までの**往復交通費(飛行機はエコノミークラス、JR等は普通車自由席、市内交通費は除く)が10,000円以上30,000円未満の場合には片道料金を、30,000円以上の場合には一律15,000円を交通費補助金として**大会本部より支援する(支援方法、提出書類などは後日該当者に連絡)。

**【韓国からの参加】**

発表者または指定討論者として選定された者には、**交通費補助金として300,000ウォン**を大会本部より支援する。ただし、パッケージの利用の有無により支援方法がことなるため、以下を必ず確認すること。

a）パッケージ利用者の場合：パッケージ料金から交通費補助金300,000ウォンを除いた料金を事務局指定口座へ入金する。

b）パッケージを利用しない場合：大会終了後8月末までに、発表者または指定討論者本人名義の口座へ入金(身分証明書、通帳コピー、Eチケットなどの領収証提出要)。

**10. 予稿集および論文集の発刊**

【予稿集】

発表者として選定された者は予稿集に掲載する**読み上げ原稿**を事務局宛にメールで送ること**(5月18日(金)14：00必着)**。原稿は日本語あるいは韓国語とし、それぞれ以下の通りの形式で作成すること(大会本部で原稿を翻訳し、日本語と韓国語で予稿集を作成する)。

\*日本語原稿

1. 原稿はMS-Wordで作成すること。
2. 原稿の分量はMS-Wordの初期画面(40字、38行)で作成したA4用紙3～4枚とする。
3. フォントはMS明朝、文字の大きさは本文は10.5ポイント、論文題目は14ポイント、注・引用・用例文および参考文献は9ポイントとする。

＊地名・人名等の固有名詞には、必ずふりがなをつけること(韓国語翻訳時に必要)。

\*韓国語原稿

1. 原稿はアレアハングルで作成すること。
2. 原稿分量はアレアハングルの初期画面(41字、41行)で作成したA4用紙3～4枚とする。
3. フォントは新明朝、文字の大きさは本文は10ポイント、論文題目は14ポイント、注・引用・用例文および参考文献は9ポイントとする。

＊地名・人名等の固有名詞には、( )内に必ず漢字表記を入れること(日本語翻訳時に必要)。

【論文集『次世代人文社会研究』（韓国研究財団登載誌(公認誌)）の発刊】

2019年3月末に論文集の発刊を予定。学術大会発表者で論文掲載を希望する者は10月末までに原稿(B5用紙15～20枚)を提出すること。詳細は国際学術大会終了後8月上旬に連絡。

**11. その他**

（指導教授へのお願い）

＊指導教授が引率なさる場合は指導教授の学術大会費(3,000円)は大会本部で負担させていただきます。ただし、大会参加に関わるその他の経費は自己負担でお願いいたします。本大会における支援金はできるだけ若手研究者育成のために使用させていただきたいと考えておりますので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、**6月29日(金)から7月1日(日)に限り、大会本部指定のホテルの利用をご希望の場合には、大会本部にお問合せいただき、参加申込書に必要事項をご記入くださいますようお願いいたします。**